



町内で飲食店を経営して40年、当別町の飲食店や宿泊施設が会員の当別料飲店組合の組合長として、町内のイベントを通じてまちの活性化に取り組んでいます。

現代を*い*活きる

活動をまちの元気に つなげたい

当別料飲店組合

組合長 **田中 範義**さん

(弥生)

芸能界から 飲食店経営の道へ

出身は当別です。当別高校を卒業してから、札幌市内のホテル勤務を経て、俳優の天知茂に弟子入りました。その後、東京で舞台やテレビ出演など芸能関係の仕事に携わっていました。

故郷の当別に帰ってきて、店を始めたのが昭和43年。それ以来今年で40年を迎えます。永く続けているといろいろな思い出がありますが、振り返るとあっと言う間だったような気がします。

仲間と続けてきた イベントを通じた活性化

店を始めてからすぐに料飲店組合に入り、会員や役員として会の運営に携わってきました。

現在、料飲店組合には約30軒が加盟して活動しています。私が店をはじめた頃は、町内には大き

な割烹が数軒あり、加盟店は現在の2倍はありました。当時と現在を比較すると、飲食業界を取り巻く環境は非常に厳しくなりましたが、イベント参加の際の協力や、会員間の親睦行事などを通じてコミュニケーションを図り、会員が助け合って活動を続けていることは昔も今も変わっていません。

料飲店組合で開催する、毎年恒例のビアパーティーは、町内の料飲店を利用して頂くお客さまへの日頃の感謝の心を何かの形にしたいとの思いで始めて、今年で30年目の開催を迎えます。今まで永く続けて来られたことは、商業、サービス業、建設業、工業、各事業主の皆様のご協力があったからと、心から感謝をしています。

昨年、駅前南口広場に会場を移し、より多くの方楽しんで頂けるイベントになったと思います。今年は7月24日に開催予定で、抽選会には豪華景品を用意しておりますので、多くのお客様に来ていただきたいと思っています。

食の安全を守る 目には見えない活動

食の安全を守るための地道な活動も、料飲店組合の加盟店が中心になって続けて来た大切な活動だと思います。

衛生管理は飲食業で特に気をつけている部分であり、私も石狩地方食品衛生協会の役員として食の安全を守るための活動にも関わっています。

今年も衛生指導のために、保健所の方と7月10日と11日に町内、郡部の飲食店、食品販売施設等の巡回を実施しますが、石狩地区では15年間食中毒が発生していません。これは、安全・安心な食について、啓発活動を続けて来た成果だと感じています。

料飲店組合として、街を良くするために、イベントへの参加や食の安全を守るための活動を続けて来ましたが、これからも私たちの活動をまちの活性化につなげて行ければ良いと思っています。